

1

富谷市総合計画審議会

富谷市総合計画審議会委員名簿（令和２年度）

	氏 名	役 職	肩書き
会長	風 見 正 三	宮城大学	副学長
委員	佐々木 秀 之	宮城大学 事業構想学群	准教授
委員	平 岡 政 子	富谷市行政区長会	会長
委員	富 田 智 子	オフィス シッチ	代表
委員	小 松 明 巳	おんないん会	会長
委員	佐々木 久美子	宮城大学 看護学群	教授
委員	大川原 卓 磨	株式会社キスケフーズ	代表取締役
委員	浅 野 澄 江	新みやぎ農業協同組合 富谷支店	支店長
委員	大 川 明 雄	くろかわ商工会	会長
委員	小 澤 ちはる	あけの平小学校	校長
委員	増 田 恵美子	富谷市教育委員会	委員
委員	加 藤 俊 明	七十七銀行 富谷支店	支店長
委員	石 井 光 二	有限責任事業組合コム ワーク・プロジェクト	代表
委員	草 野 昭 徳	富谷市社会福祉協議会	会長

役職・肩書は当時のものです。

2

富谷市総合計画審議会条例

平成２年９月２６日
条例第１７号

（設置）

第１条 市長の諮問に応じ、市が定める総合計画に関する事項を調査審議するため、地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１３８条の４第３項の規定に基づき、富谷市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第２条 審議会は、委員２３人以内で組織する。

２ 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

（１）学識経験のある者

（２）市議会の議員

（３）公共的団体の役員又は職員

３ 委員の任期は、当該諮問に係る審議が終了する日までとする。ただし、当該審議が終了する前に委員が委嘱されたときにおける当該身分を失った場合は、その日までとする。

（平２８条例２６・一部改正）

（会長）

第３条 審議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

２ 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

３ 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第４条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

２ 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

３ 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第５条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成２８年条例第２６号）

この条例は、公布の日から施行する。

3

富谷市総合計画・前期基本計画の数値目標の実績について

基本方針	大項目	中 項 目	目標指標	主管課	目標値
Ⅰ暮らしを自慢できるまち！	1 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります	1-1 商工業・雇用	新規誘致・操業企業数	産業観光課	5 社以上 (R1 まで)
			新規雇用者数	産業観光課	800 人以上 (R1 まで)
			新規雇用者数のうちの女性雇用率	産業観光課	30% 以上 (R1 まで)
	2 とみやシティブランドで自慢したくなるまちを創ります	1-2 起業支援	市の支援による起業・創業の実現	産業観光課	8 社以上 (R1 まで)
		2-1 農業	新たな特産品開発数	農林振興課	1 品以上 (R1 まで)
		2-2 商業・観光	しんまち地区を会場としたイベント来場者数	産業観光課 生涯学習課	52,000 人以上 (R2)
		2-3 観光・地域振興	とみや国際スイーツ博覧会 (平成 28 年度から年 1 回開催)	産業観光課	毎年開催 (R1 まで)
			市内交流人口の拡大	産業観光課	10,000 人以上 (R1 まで)
	3 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります	3-1 公共交通	公共交通グランドデザインの策定	企画政策課 交通政策推進室	策定済 (R1 まで)
			市民バス年間利用者数	企画政策課 交通政策推進室	77,000 人 (R1 まで)
		3-2 道路	幹線道路の移動しやすさに対する市民満足度の向上	都市整備課	50.0% (R2)
			歩行者等の安全な道路通行に対する市民満足度の向上	都市整備課	30.0% (R2)
	4 住み心地の良さを 実感できる豊かな まちを創ります	4-1 土地利用	土地利用のバランスに対する市民満足度の向上	企画政策課	35.0% (R2)
		4-2 住宅・公園・上下水道	上水道利用の有収率	上下水道課	90.0% (R2 まで)
			合併処理浄化槽の設置率	生活環境課	70.0% (R2 まで)
		4-3 自然環境・公園	自然環境に対する市民満足度の向上	都市計画課	70.0% (R2)

現状値	R2 実績値	達成度	評価・課題
- (H26)	7 社	達成	県主催のセミナー参加や企業訪問を通じた企業誘致活動により、県内外に市の PR を行うことができた。宮城県と連携し、情報共有を行いつつ活動を行ったことで目標の達成に繋がった。コロナ禍においても、企業との関係性が途切れることがないようオンラインを活用するなどして情報交換や誘致活動を継続していく。
- (H26)	1,101 人	達成	新規誘致、操業件数の増加が新規雇用者数の増加にも繋がった。各企業とも立地後も毎年新規雇用を生んでおり、市民の雇用機会拡大を図ることができた。県の雇用対策事業の情報共有を行う等、企業向けの雇用促進にも力を入れていく。
- (H26)	58.6%	達成	各企業、女性を積極的に採用しており、目標値達成に繋がった。引き続き、女性の雇用率を維持できるよう、各種支援事業の情報共有を行う等、支援を行っていく。
- (H26)	22 社	達成	起業・創業の場となる「富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）」を整備し、商工会や金融機関等と連携することで、目標値を大きく上回る起業・創業の実現につながった。引き続き、起業・創業への支援を続けるとともに、経営面においても支援を行っていく必要がある。
- (H26)	3 品	達成	はちみつ、イチジク、シャインマスカットを新たに特産品として開発することができた。今後は、現在取り組んでいる富谷茶復活プロジェクトを着実に進めていく。
27,000 人 (H27)	0 人	未達成	とみや街道まつりをはじめとしたイベントを開催することで、しんまち地区への来訪者は増加していたが、目標の達成には至らなかった。 ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症を考慮してイベントを中止した。
- (H26)	終了	達成	「とみや国際スイーツ博覧会」の開催により、「スイーツのまち」として魅力発信を行うことができた。今後は、「スイーツのまち」としてのシティブランド確立に向け、新たな施策やスイーツステーションの整備を図る。
- (H26)	0 人	ほぼ達成	とみや国際スイーツ博覧会や富谷街道まつり等の開催により、令和元年度までは毎年度目標を達成できたものの、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を自粛したため、目標の達成には至らなかった。
未策定 (H26)	策定済 (H30)	達成	公共交通グランドデザイン（基本構想）を平成 30 年度に策定し、令和元年度には将来像に向けた具体的な施策を盛り込んだ都市・地域総合交通戦略（基本計画）を策定し、市民バスの再編やデマンド型交通の事業開始等に取り組むことができた。引き続き、交通の利便性向上に向けた取組を行う。
71,962 人 (H26)	74,323 人	ほぼ達成	市民バスの利用環境向上に努めることで、目標をほぼ達成することができた。引き続き、市民バスアンケート調査や利用者ニーズを踏まえながら、地域の課題を整理し、利用者視点に立った市民バスの運行を行っていく。
45.4% (H27)	44.7%	未達成	アンケートでは、市内幹線道路の混雑に対する声が多く、目標の達成には至っていない。市内幹線道路の効果的な整備が課題となる。
26.8% (H27)	29.3%	未達成	アンケートでは、交通量が多い団地内での歩行者の安全性が確保できていないという声や自転車利用者の交通マナーが悪いなどの声があり、目標の達成には至らなかった。上記同様、効果的な整備が課題となる。
30.3% (H27)	30.8%	未達成	アンケートでは、土地利用のバランスに満足している方が 3 割ほどとなり、目標達成には至らなかった。
86.9% (H27)	91.1%	達成	目標値を達成することができた。引き続き、保守点検、老朽管路の修繕などによる効率的な給水を行っていく。
68.3% (H27)	71.1%	達成	合併処理浄化槽維持管理費の一部補助などの取組を行うことで、目標を達成することができた。引き続き、適切な維持管理の推進及び浄化槽の普及促進を図り、設置率の向上を図る。
65.3% (H27)	66.10%	未達成	アンケートでは、開発に伴う自然環境の減少、植木や植栽の手入れ不十分などの声があり、目標達成には至らなかった。

基本方針	大項目	中 項 目	目標指標	主管課	目標値
Ⅱ 教育と子育て環境を誇るまち！	1 創造性豊かな教育環境のまちを創ります	1-1 教育・青少年健全育成	学校教育に対する市民満足度の向上	学校教育課	30.0% (R2)
			学校支援ボランティアへの参加者数	生涯学習課	2,300 人 (R2 まで)
		1-2 教育・国際交流	市立幼稚園、小・中学校のユネスコスクール登録数	学校教育課	2 園、13 校 (R2 まで)
			小中学校 ICT 機器(タブレット)の 1 台あたりの使用人数	学校教育課	3.1 人 (R2 まで)
			小中学校図書館蔵書数	学校教育課	125,000 冊 (R2 まで)
	2 あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります	2-1 生涯学習	公民館各種教室参加者・施設利用者延べ人数 (児童クラブ関係除く)	公民館	230,000 人 (R2 まで)
		2-2 スポーツ・レクリエーション	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	生涯学習課	50% (R2 まで)
	3 伝統と文化を誇れるまちを創ります	3-1 芸術・文化	とみやふるさとまつり来場者数 (街道まつり)	産業観光課	50,000 人 (R2 まで)
	4 地域で子育てを支えるまちを創ります	4-1 子育て支援	新生児訪問率	子育て支援課	100% (R2 まで)
			保育園待機児童数	子育て支援課	0 人 (R1 まで)

現状値	R2 実績値	達成度	評価・課題
25.8% (H27)	26.30%	未達成	アンケートでは、小・中学校での教育が充実していないという声があり、目標達成には至らなかった。
1,798 人 (H27)	225 人	未達成	ボランティアに登録する人材が固定化しており、新たな人材発掘の体制構築を行ってきたが、なかなか増加にはつながっていない。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策による事業減少により、目標達成には至らなかった。
1 校 (H27)	2 園、13 校	達成	平成 30 年 11 月に市立幼稚園、小・中学校 12 校が承認され、目標を達成した。今後は、令和 2 年 7 月に設立した富谷ユネスコ協会において、様々な立場の人々の知恵と力を合わせて課題の解決に取り組み、「安心して日々の暮らしを営める」よりよい社会作りに貢献していく。
6.2 人 (H27)	1 人	達成	国の補助制度の活動により、目標値を大きく上回る実績となった。今後は、整備した I C T 機器を有効に活用できる教員の育成に取り組む。
119,052 冊 (H27)	132,855 冊	達成	目標の達成により、児童・生徒の読書習慣の定着に向けた体制を整えることができた。
203,765 人 (H27)	111,389 人	未達成	各地域の幅広い年齢層への生涯学習環境の整備を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、目標の達成には至らなかった。引き続き、より多くの方が参加できる教室の開催や施設の環境づくりを行っていく。
- (H27)	41.3% (H29)	未達成	スポーツ活動を促す機会の提供・支援を行ってきたが、目標の達成には至らなかった。今後は、より積極的なスポーツ機会の提供を行っていくことが課題となる。
25,000 人 (H27)	0 人	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響や会場のキャパシティの限界もあり、目標達成には至らなかった。今後は、新型コロナウイルス感染症を考慮したイベントの開催をすることが課題となる。
99.8% (H27)	97.1%	ほぼ達成	出生後 4 ヶ月を目途に訪問するため、訪問率は 100%とはならないものの、今後訪問予定のため、目標はほぼ達成となる。今後は、新型コロナウイルス感染症に配慮した訪問が課題となる。
47 人 (H28)	0 人	達成	令和元年度に整備した小規模保育施設 2 か所の開設により、令和 2 年 4 月 1 日時点で目標値を達成した。今後も児童数の推移に注視し、適切な受け入れ可能数の維持が課題となる。

基本方針	大項目	中 項 目	目標指標	主管課	目標値
Ⅲ 元気と温かい心で 支えるまち	1 あらゆる世代が元 気に暮らす健康自 慢のまちを創りま す	1-1 高齢者支援	地域交流拠点「街かどカフェ」 の創設施設数	長寿福祉課	4 地域 (R2 まで)
			ゆとりすとクラブ・サロンの開 催箇所数	長寿福祉課	22 か所 (R2 まで)
		1-2 健康・保健	自分の健康状態が良いと思う人 の割合 (住民健康意識アンケート調査)	健康推進課	90.0%以上 (R2 まで)
			運動習慣のある人の割合 (住民健康意識アンケート調査)	健康推進課	50.0%以上 (R2 まで)
			健康診査を受けている人の割合 (住民健康意識アンケート調査)	健康推進課	80.0%以上 (R2 まで)
			「心身ともに快調」と答える母 の割合 (1 歳 6 ヶ月健康診査問診票)	健康推進課	70.0%以上 (R2 まで)
		1-3 医療	医療に対する市民満足度の向上	健康推進課	20.0% (R2)
	2 高齢者も障がい者 も安心して暮らせ るまちを創ります	2-1 障がい者支援	就労移行支援・就労継続支援事 業所数	地域福祉課	7 事業所 (R2 まで)
		2-2 高齢者・障がい者 支援	高齢者・障がい者外出支援乗車 証「とみばす」交付率	長寿福祉課 地域福祉課	50% (R1 まで)
	3 身近なコミュニ ティがみんなの支 えになるまちを創 ります	3-1 家族コミュニティ	市民の定住意向の向上	企画政策課	92.0% (R2 まで)
		3-2 地域コミュニティ	地域交流拠点「街かどカフェ」 の創設施設数（再掲）	長寿福祉課	4 地域 (R2 まで)
			ゆとりすとクラブ・サロンの開 催箇所数（再掲）	長寿福祉課	22 か所 (R2 まで)
		3-3 地域活動	富谷市社会福祉協議会へのボラ ンティア登録数	長寿福祉課	1,000 人 (R2 まで)

現状値	R2 実績値	達成度	評価・課題
- (H27)	4 地域	達成	市民が気軽に集える場所づくりとして創設を進め、目標を達成することができた。 引き続き、地域の方を地域の方が支えるまちづくりを進めていく。
19 か所 (H27)	23 か所	達成	市内 23 か所で開催することができ、市民主体の地域づくりの支援につながった。 今後は、より開催箇所数を増加するとともに、新型コロナウイルス感染症を考慮した 開催が課題となる。
78.0% (H27)	-	-	※ 当初、富谷市健康推進計画（平成 29 年度～令和 4 年度）において実施した住民 健康意識アンケート調査を令和 2 年度に中間調査として実施する予定だったが、令和 4 年度の最終評価時のみ行うこととしたため、評価できず。
47.3% (H27)	-	-	※ 当初、富谷市健康推進計画（平成 29 年度～令和 4 年度）において実施した住民 健康意識アンケート調査を令和 2 年度に中間調査として実施する予定だったが、令和 4 年度の最終評価時のみ行うこととしたため、評価できず。
73.2% (H27)	-	-	※ 当初、富谷市健康推進計画（平成 29 年度～令和 4 年度）において実施した住民 健康意識アンケート調査を令和 2 年度に中間調査として実施する予定だったが、令和 4 年度の最終評価時のみ行うこととしたため、評価できず。
68.9% (H27)	77.4%	ほぼ達成	各年度において、概ね 7 割前後の数値を達成することができた。今後は、新型コロ ナウイルス感染症対策等の影響により、より手厚いフォローを行うことが必要となる。
17.9% (H28)	24.7%	達成	目標値の達成はできたが、アンケートには、休日当番医の充実や夜間救急の受け入 れ体勢の整備を要望する声もあり、今後の課題となる。
5 事業所 (H28)	5 事業所	未達成	一時は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標の達成には 至らなかった。引き続き、就労に必要な知識やスキル向上のためのサポートを行って いく。
- (H27)	(高) 41.1% (障) 25.1%	未達成	平成 28 年 10 月から開始した本事業は、堅調に交付率は伸ばしてきたが、目標の 達成には至らなかった。今後は、より多くの方へ交付できるような周知の徹底が課題 となる。
89.4% (H28)	88.00%	未達成	目標達成には至らなかったが、前回アンケートと比べて、「暮らしたいとは思わない」 と回答する割合も減っていることから、引き続き、「今後も暮らしたい」と思ってもら えるようなまちづくりが必要となる。
- (H27)	4 地域	達成	市民が気軽に集える場所づくりとして創設を進め、目標を達成することができた。 引き続き、地域の方を地域の方が支えるまちづくりを進めていく。
19 か所 (H27)	23 か所	達成	市内 23 か所で開催することができ、市民主体の地域づくりの支援につながった。 今後は、より開催箇所数を増加するとともに、新型コロナウイルス感染症を考慮した 開催が課題となる。
801 人 (H27)	881 人	未達成	近年は増加傾向にあったものの、増加率が鈍化していたこともあり、目標達成には 至らなかった。引き続き、登録者の増加とコーディネーターの育成に力を入れていく 必要となる。

基本方針	大項目	中 項 目	目標指標	主管課	目標値
Ⅳ 市民の思いを協働 でつくるまち！	1 日常生活が安全で 包まれたまちを創 ります	1-1 防災・救急・消防	自主防災組織の設立数	防災安全課	全町内会 (R1 まで)
			富谷市消防団員充足率	防災安全課	100% (R2 まで)
			耐震診断士派遣事業申請件数 (累計)	都市計画課	180 件 (R2 まで)
		1-2 防犯・交通安全・ 消費生活	犯罪率 (市町村別犯罪発生状況：1,000 人あたり認知件数)	防災安全課	3 件以内 (R2 まで)
			通年防犯パトロール実施町内会 数	防災安全課	23 町内会 (R2 まで)
			交通事故発生件数	防災安全課	150 件以内 (R2 まで)
		1-3 人権尊重・男女共 同	審議会等委員への女性登用率	市民協働課	46.0% (R2 まで)
	2 持続可能な都市環 境がブランドにな るまちを創ります	2-1 環境衛生	1 人 1 日あたりのゴミ排出量	生活環境課	900 g (R2 まで)
		2-2 省エネ・自然エネ	省エネルギーや環境保全に対す る市民満足度の向上	生活環境課	18.0% (R 2)
	3 健全なまちづくりに 向けてみんなが 協働するまちを創 ります	3-1 住民参加・協働	まちづくりの基本となるルール の策定	市民協働課	策定済 (R 2 まで)
		3-2 行財政経営	財政健全化判断比率 4 指標の基 準内確保	財政課	基準内維持 (R 2 まで)
			市税収納率	税務課	98.0% (R 2 まで)

現状値	R2 実績値	達成度	評価・課題
23 町内会 (H27)	38 町内会	未達成	目標の達成には至らなかったが、地域によっては自主防災組織を設立せずに、独自の運用を行っているところもあることから、今後は地域の実情に応じた目標値の設定を検討する必要がある。
86.0% (H27)	92.7%	未達成	目標の達成には至らなかったが、毎年充足率は 90%を超えている。今後も地域防災力の向上に向け、消防団員の充足に向け取り組むを進める。
149 件 (H27)	172 件	未達成	東日本大震災から数年がたち、申請件数が年々減少してきたため、目標の達成には至らなかった。引き続き、昭和 56 年以前に建てられた木造住宅の耐震診断の周知・啓発を行っていく。
3.8 件 (H27)	2.9 件	達成	警察機能の充実強化や防犯灯や街路灯の整備・回収等を行ったことにより、目標を達成することができた。引き続き、市民防犯意識の高揚に努める。
18 町内会 (H27)	25 町内会	達成	令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施町内会が減ったものの、各年度で目標を達成することができた。引き続き、防犯環境の向上に努める。
159 件 (H27)	58 件	達成	交通安全活動の積極的な展開により、目標を達成することができた。引き続き、交通安全教室の開催等により、安全運転意識の向上を図る。
40.8% (H27)	50.0% (R2.4.1)	達成	全国的にも高い女性登用率となり、目標を達成することができた。今後は、高い女性登用率をキープしつつ、男女の意見をバランスよくまちづくりに反映させていくよう努める。
946 g (H 27)	977g	未達成	ライフスタイルの変化や新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の増加を受けた結果、ゴミの排出量は増加し、目標の達成には至らなかった。今後も、一層のごみの排出抑制を促す啓蒙活動を行っていく。
13.6% (H 27)	14.1% (R 2)	未達成	水素プロジェクトの実施や富谷高校の参加のもとサイエンスキャッスルを開催するなどの活動を行ったが、目標達成には至らなかった。今後は、事業への取組と合わせ、市民への周知が課題となる。
未策定 (H 27)	策定済	達成	まちづくりに関わる様々な主体が、共にまちづくりに取り組むための具体的な考え方や方向性を示し、共通理解するためのものとして令和 2 年度に策定。今後は、本ルールのもとに、これまで以上に多様な人々が活躍し、地域を支える幅広い活動ができるよう支援していく。
適正基準内 (H 27)	適正基準内 (R1)	達成	財政健全化判断比率 4 指標については、健全な財政運営を図り、今後とも適正数値の維持に努める。
97.1% (H27)	98.3%	達成	計画的な催告の実施、納税者の利便性向上を図ることで、目標を達成することができた。引き続き、収納率向上と収入未済額の縮減に努める。

4 富谷市まちづくりアンケート結果概要

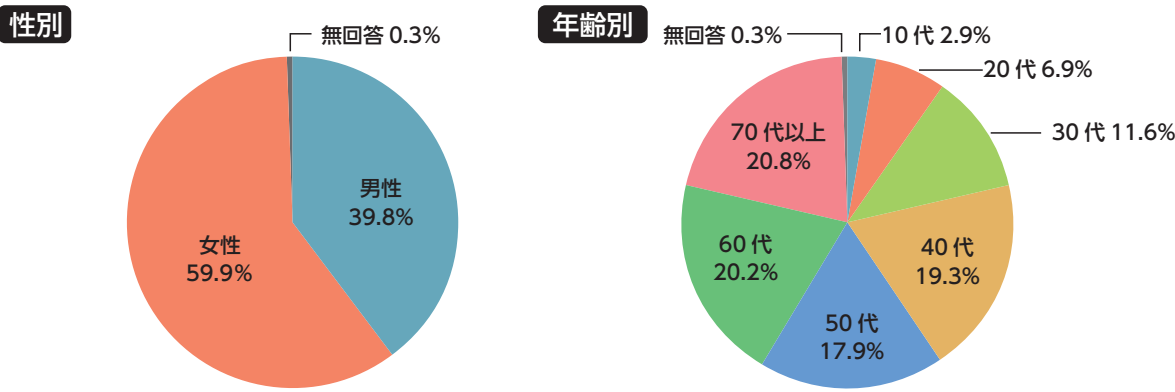
○調査の目的

本調査は、2020 年（令和 2 年）度末に終期を迎える「富谷市総合計画・前期基本計画」に基づく各種施策の推進状況の検証及び、2021 年（令和 3 年）度からの新たな 5 年間の市政運営の方向性を定める「同・後期基本計画」の策定に伴い、今後の施策展開に生かしていくことを目的に実施したものである。

○調査の概要

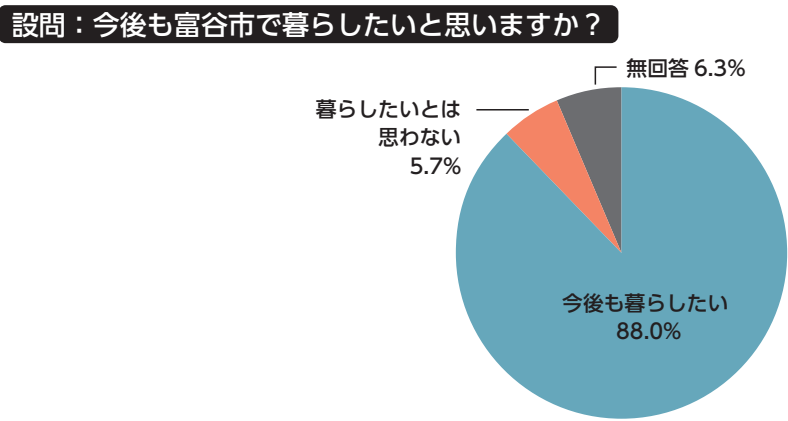
調査名	富谷市まちづくりアンケート調査 ～富谷市総合計画・後期基本計画策定に関する住民意向調査～
調査期間	2020 年（令和 2 年）7 月 31 日（金）～9 月 4 日（金）
調査対象者	富谷市内に居住の 18 歳以上の市民（2,000 名を無作為抽出）
回収数（率）	895 票（44.75%）

○回答者属性



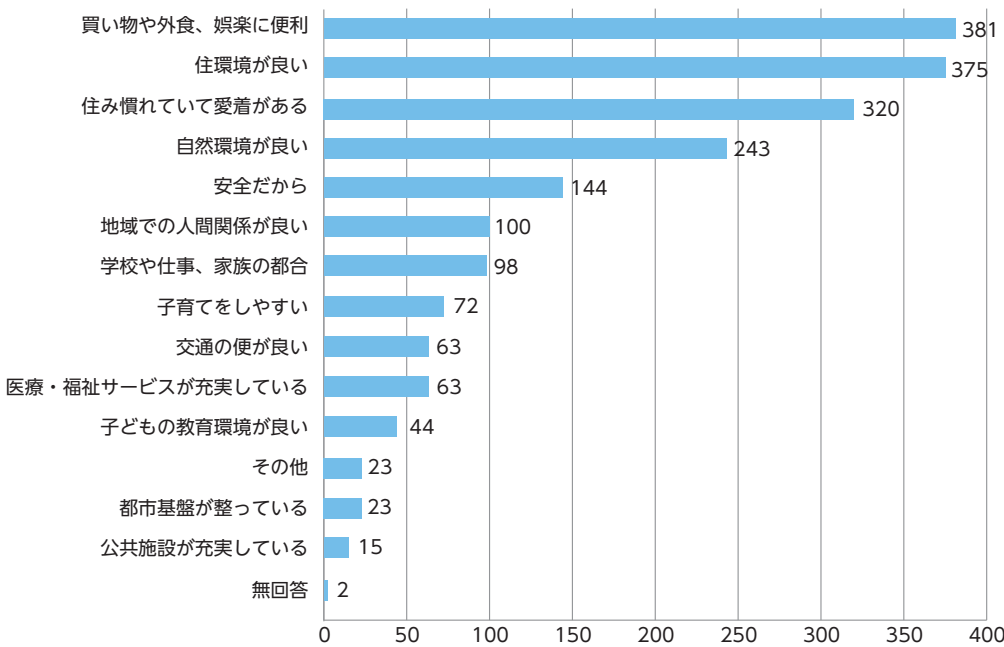
性別では「男性」が 39.8%、「女性」が 59.9%であり、回答者の半数以上を「女性」が占めた。
年齢では「70 歳以上」が 20.8%と最も多く、次に「60 代」（20.2%）、「40 代」（19.3%）と続いた。

○富谷市の暮らしやすさ



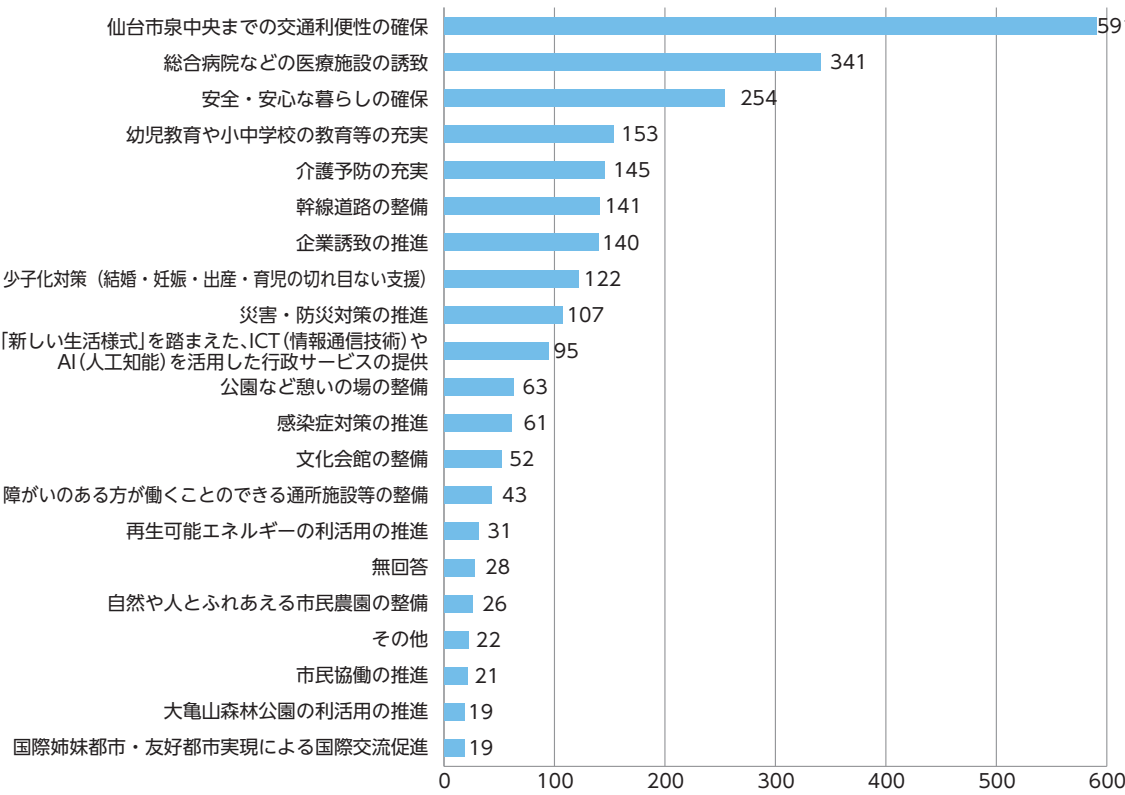
将来居住意向では、「今後も暮らしたい」が 88.0%と大半を占めた。

○今後も富谷市で暮らしたいと思う理由



富谷市で暮らしたいと思う理由では、「買い物や外食、娯楽に便利」が最も多く、次に「住環境が良い」、「住みなれていて愛着がある」、「自然環境が良い」が続いた。

○富谷市がこれから行う施策で必要なものは？



これから必要な施策では、「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」が最も多かった。その他、比較的必要だと思う割合が多い項目としては、「総合病院などの医療施設の誘致」や「安全・安心な暮らしの確保」が挙げられた。

5 とみや市政懇談会

市の行政運営の状況を皆さんにお知らせし、今後のまちづくりに向けた意見や提案をお聞きする機会として、下記のとおり「とみや市政懇談会」を開催しました。

○市出席者

市長、副市長、教育長、教育次長、各部長（6名）

○開催結果

新型コロナウイルス感染症拡大を避けるため、規模を縮小して実施しました。

開催日		会場	参加人数
令和2年11月	15日（日） 14：00～15：30	成田公民館	27人
	21日（土） 14：00～15：30	富谷中央公民館	7人

○次第

懇談会当日の次第は、以下のとおりです。

- ①開会
- ②開会挨拶（市長）
- ③出席者・事務局紹介
- ④後期基本計画の概要説明
- ⑤意見交換
- ⑥閉会挨拶（副市長）
- ⑦閉会

6 パブリックコメント

住民の市政に関する意見等を提出する機会の確保と提供、開かれた市政の推進を図るため、「後期基本計画（案）」と「第2次富谷市地方創生総合戦略（案）」、「第2次富谷市人口ビジョン（案）」について、住民の皆様からの意見を募集しました。

○後期基本計画（案）

- ・実施期間 令和3年2月10日から3月1日まで
- ・意見等 意見はございませんでした。

○第2次富谷市地方創生総合戦略（案）

- ・実施期間 令和3年2月10日から3月1日まで
- ・意見等 意見はございませんでした。

○第2次富谷市人口ビジョン（案）

- ・実施期間 令和3年2月10日から3月1日まで
- ・意見等 意見はございませんでした。

7 第2次富谷市地方創生総合戦略【概要版】

富谷市地方創生総合戦略の目的

目 的

まち・ひと・しごと創生法第10条の要請に対応するとともに、富谷市として能動的に地方創生に対応していくため、第2次富谷市地方創生総合戦略を策定します。なお、令和3年度からスタートする富谷市総合計画後期基本計画において、まち・ひと・しごと創生法の趣旨を反映した重点的な施策については、地方創生総合戦略に位置付けて実施します。

計画期間と管理体制

第2次富谷市地方創生総合戦略の計画期間は、富谷市総合計画後期基本計画の期間と合わせることとし、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。進行管理については、基本目標や具体的な施策に数値目標や重要業績評価指標（KPI）を設定し、これを用いて達成度や事業の進捗状況を適宜、評価・検証を行います。なお、KPI等の評価・検証については、「富谷市総合計画審議会」で行い、それを議会に報告し、公表することとします。また、「富谷市総合計画審議会」の議論や議会の意見を経て、基本目標や具体的な施策の見直しや改善を図ります。

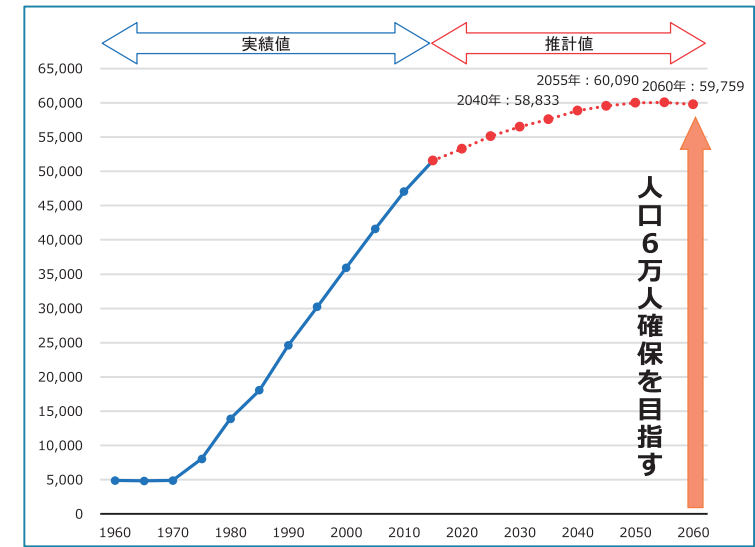
人口ビジョン

富谷市の人口の将来展望

2055年の60,090人を頂点に、2060年の59,759人とわずかに減少しますが、引き続き地方創生総合戦略の取組を展開することで、100年間ひとが増え続ける富谷市を目指します。

【2060年人口6万人確保の算出条件】

- ・一人の女性が一生に産む子どもの数の平均値である「合計特殊出生率」を、宮城県の人口ビジョンの目標と同様にしています。具体的には2030年まで1.60、2035年は国民の希望出生率である1.80、2040年以降は、人口が安定的に維持される水準である人口置換水準の2.07としています。
- ・移動率は、今後の宅地造成計画を考慮し、社人研が推計した2020年から2060年までの推計値と2015年の実績値の平均値である+1.6%を維持するものとしています。



富谷市地方創生総合戦略

基本目標 1

地域の魅力を活かした雇用の場の創出



	項 目	目標値	主な施策
数値目標	新規雇用者数	250 人（累計）	①起業・創業支援 ②多様な人材の育成 ③企業の誘致・操業 ④基本目標を達成するための事業
重要業績 評価指標 （KPI）	新規誘致・操業企業数	5 社（累計）	
	市の支援による起業・創業の実現	25 社（累計）	
	プレミアムスクール受講者数	50 人（延べ）	

【取組方針】

- ・富谷市まちづくり産業交流プラザ(TOMI+)を中心に起業家の育成に取り組むとともに、起業後のサポート体制を充実させます。
- ・ウィズコロナの時代を見据え、多様な働き方のスタイルを提案します。
- ・本市の偉人 内ヶ崎作三郎氏の著書「人生学」をテーマにしたプレミアムスクールを開講し、本市の発展に寄与する多様な人材を育成します。

国の基本目標「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」に対応

基本目標 2

とみやシティブランドの創出・発信による交流人口の拡大



	項 目	目標値	主な施策
数値目標	交流人口の増加	56,645 人 → 16 万人	①地域の魅力発信 ②とみやシティブランドの発信 ③新たな特産品の開発促進 ④移住・定住の受入れ推進 ⑤基本目標を達成するための事業
重要業績 評価指標 （KPI）	富谷宿観光交流ステーションへの年間来場者数	10 万人	
	新たな特産品の開発	2 品（累計）	
	空き家利活用促進事業を活用した売買等件数	1 件 → 10 件（累計）	

【取組方針】

- ・豊かな自然や魅力ある居住環境・就業環境についての情報を提供するほか、住宅地の整備に取り組み、移住者や定住者にとっての魅力を高めます。
- ・新たな観光拠点「富谷宿観光交流ステーション(とみやど)」を中心に、地域の歴史的な資源や文化を活用したコンテンツの発信やイベントを行うことで地域の魅力を高め、交流人口の拡大を図ります。
- ・とみやスイーツ等に代表される「とみやシティブランド」の発信拠点として、スイーツステーションを整備します。
- ・「とみやシティブランド」の魅力をさらに高めるため、富谷茶の復活に取り組めます。

国の基本目標「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」に対応

基本目標 3

まちの未来を育てる環境の充実



	項 目	目標値	主な施策
数値目標	子育てに対する市民満足度	45.4% → 50.0%	①図書館を核とした複合施設の整備推進 ②保育環境の整備 ③教育環境の向上 ④ワーク・ライフ・バランスの推進 ⑤基本目標を達成するための事業
	学校教育に対する市民満足度	26.4% → 30.0%	
重要業績 評価指標 （KPI）	図書館利用登録者数	8,100 人 → 15,000 人	
	保育園待機児童数	0 人 → 0 人	
	審議会等委員への女性登用率	50.3% → 50%維持	

【取組方針】

- ・子供たちの学びをさらに深めるため、ICT教育環境の充実を図ります。
- ・富谷市民図書館の整備を推進するとともに、児童屋内遊戯施設、スイーツステーションとの複合施設化についても調査、研究を進めます。
- ・「富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言」の実現に向けて、日本型子どもにやさしいまち(CFC)の実践に取り組みます。
- ・子育てしやすい環境づくりのために、保育サービスの充実に努めます。
- ・誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現に向けて、政策・方針決定過程への女性参画を促進し、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

国の基本目標「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に対応

基本目標 4

すべての世代が安心して暮らすことができる魅力的なまちの創造



	項 目	目標値	主な施策
数値目標	市民の定住意向の割合	88.0% → 90.0%	①都市交通施策の推進 ②(仮称) やすらぎパークとみやの整備 ③高齢者福祉の充実や共に支え合う地域づくりの推進 ④市民協働による公共インフラの維持管理の推進 ⑤脱炭素社会に向けた取組の推進 ⑥基本目標を達成するための事業
重要業績 評価指標 （KPI）	市民バス年間利用者数	88,247 人→92,000 人	
	デマンド型交通年間利用者数	1,000 人	
	認知症学びの講座受講者数	2,462 人 → 4,500 人（累計）	
	ゆとりすとクラブ・サロンの開催箇所数	22 か所 → 26 か所	
	市民協働による公共インフラ維持管理団体数	3 団体 → 15 団体	
	省エネ・環境保全の市民満足度	14.1% → 20.0%	

【取組方針】

- ・「都市・地域総合交通戦略(基本計画)」に掲げる各種施策の展開を進め、交通関連事業とまちづくりが連携した、総合的かつ戦略的な都市交通施策の推進を目指します。
- ・生涯安心して元気に過ごすことができる住環境整備の一環として、公営墓地とパークゴルフ場が一体となった「(仮称) やすらぎパークとみや」の整備を推進します。
- ・高齢者福祉の充実や共に支え合う地域づくりを推進します。
- ・脱炭素社会実現に向け、地球環境の貢献につながる取組を推進します。

国の基本目標「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」に対応